

# オルガンレクチャーコンサート

## 「オルガンの鍵盤」

入場無料 & 予約・申込不要

オルガンには全部で5つの鍵盤があります。鍵盤ごとに笛の位置が異なるため、音の響きも異なります。毎回ある一つの鍵盤を取り上げて紹介し、その鍵盤の役割について解説します。たくさんの音色の中から、その鍵盤の個性や特徴について感じ取っていただけるプログラムです。

### 第148回 テーマ「ペダル鍵盤」～低音の響き・歌のテーマを奏でるペダルの音～

6月18日(土)

開場 13:30

14:00

14:50

オルガンの魅力のひとつは重厚な低音が鳴り響くことです。これは足で演奏し、演奏者にとっては高度なテクニックなのですが、その足さばきを見るのはとても興味深く、かのバッハが華麗なペダル演奏を披露した時に、ヘッセン侯爵フリードリヒは驚きと感動のあまりに宝石をちりばめた指輪を贈った、というエピソードがあるほど。ペダルが奏でる様々な音型を聞き取る面白さを体験しに、ぜひ神戸松蔭のチャペルに足をお運びください。



お話と演奏……長谷川 美保(明治学院音楽主任・オルガニスト)

〈演奏者プロフィール〉

東京藝術大学及び同大学院修士課程でオルガンを専攻し、オランダ政府給費留学生としてアムステルダム・スウェーリンク音楽院で学び、オルガンのソリストディプロマを取得して卒業。文化庁在外研修員としてオランダに再び滞在し、オルガン建造法とその歴史、修復と鑑定について学んだ。国内のみならずヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。ベルギー・ブルージュ国際コンクール・オルガン部門、オランダ・シュニットガー国際オルガンコンクール入賞。明治学院音楽主任・オルガニスト、明治学院大学講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



N.deグリニー「来ませ、創り主なる聖霊よ」より J.S.バッハ「トッカータ 八長調」BWV564  
J.S.バッハ「来ませ、創り主なる聖霊よ」BWV667 他

### 第149回 テーマ「主鍵盤」～響きのグラデーション・フランスのノエルを集めて～

10月22日(土)

開場 13:30

14:00

14:50

神戸松蔭のフランス古典オルガンの場合、5つある鍵盤のうち、ポジティブ以外の4つの鍵盤で鳴らせるパイプは、すべて仕切りのない一つの箱の中に納められています。同じ箱の中で響き合う、鍵盤ごとの微妙な音色の違いを楽しむのがフランス好みといえましょう。鍵盤による響きのグラデーションを、神戸松蔭ならではの音色でどうぞお楽しみ下さい。



お話と演奏……上野 静江(本学非常勤講師)

〈演奏者プロフィール〉

3歳よりピアノを始める。神戸女学院大学音楽学部にてピアノを、パーゼル音楽院スコラカントゥルムにて、チェンバロ、通奏低音を、神戸松蔭女子学院大学および米国スタンフォード大学にてオルガンを学ぶ。これまでオルガンを鈴木雅明、R.F.ペイツ、J.C.ツェンダーの各氏に師事。ポローニヤ市聖ミケーレ教会コンサートシリーズ、またサンティエゴ大学の特別演奏会に招かれるなど、国内外で多くの演奏会に出演。現在、神戸女学院めぐみ会音楽教室チェンバロ科講師、神戸松蔭女子学院大学非常勤講師。



N.ルベール「ノエルが来たとき」 P.ダンドリュエ「ヨセフはよい結婚をした」  
L.C.ダカン「グランジュと二重奏によるノエル」 他

### 第150回 テーマ「ポジティブ鍵盤」～まっすぐに届く音色～

2017 3月4日(土)

開場 13:30

14:00

14:50

神戸松蔭のオルガンには「リュックポジティブ(背中のポジティブ)」と呼ばれる鍵盤があります。この鍵盤に繋がっている笛は、オルガニストの背中の後方にあります。他の鍵盤の笛と比べて、会衆席のすぐ近くで鳴ることが特徴です。チャペルのあちこちの場所から降り注ぐ音色の違いをお楽しみ下さい。



お話と演奏……伊藤 純子(本学非常勤講師・オルガン奏楽指導者)

〈演奏者プロフィール〉

立教大学文学部英米文学科卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。フェリス女学院大学音楽学部ディプロマコース修了。ボストンのニューイングランド音楽院に短期留学。立教大学において13年間オルガニストを務める。現在、神戸松蔭女子学院大学オルガン奏楽指導者・非常勤講師。神戸国際大学および聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂オルガニスト。神戸聖ミカエル教会礼拝音楽責任者。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



C.deアラウホ「第四旋法による第二ティエント」 J.カバニエス「コレンテ・イタリアーナ」  
J.S.バッハ「われ心より焦がれ望む」 J.-F.ダンドリュエ「第三旋法による組曲」 他